

みずほCustomer Desk Report 2024/02/13 号 (As of 2024/02/12)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	— AUD/USD
TKY 9:00AM	149.21	1.0788	161.06	1.2634	0.6520
SYD-NY High	149.48	1.0805	161.09	1.2653	0.6543
SYD-NY Low	148.93	1.0756	160.39	1.2608	0.6513
NY 5:00 PM	149.37	1.0772	160.87	1.2629	0.6531

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	38,797.38	125.69	日本2年債	-	-
NASDAQ	15,942.55	▲ 48.12	日本10年債	-	-
S&P	5,021.84	▲ 4.77	米国2年債	4.4770%	▲0.0061%
日経平均	-	-	米国5年債	4.1368%	▲0.0043%
TOPIX	-	-	米国10年債	4.1783%	0.0019%
シカゴ日経先物	37,485.00	310.00	独10年債	2.3645%	▲0.0140%
ロンドンFT	7,573.69	1.11	英10年債	4.0535%	▲0.0280%
DAX	17,037.35	110.85	豪10年債	4.1640%	0.0040%
ハンセン指数	-	-	USDJPY 1M Vol	7.79%	0.04%
上海総合	-	-	USDJPY 3M Vol	9.16%	▲0.04%
NY金	2,033.00	▲ 5.70	USDJPY 6M Vol	9.24%	▲0.03%
WTI	76.92	0.08	USDJPY 1M 25RR	▲0.84%	Yen Call Over
CRB指数	273.31	▲ 1.03	EURJPY 3M Vol	8.60%	▲0.21%
ドルインデックス	104.17	0.06	EURJPY 6M Vol	8.94%	▲0.18%

東京	休場
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、149.20レベルでオープン。特段の材料がない中、明日午後に米1月CPIの発表を控え、じり下げで推移。結局、148.98レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は149円台前半でスタート。東京市場が休場の中、米金利の低下する動きを背景に、じり安での推移が続く、148.98レベルでNYオープン。朝方は海外時間に低下していた米金利が戻す展開に追随し、149円台前半まで反発。続いてボウマンFRB理事が「当面は利下げが適切とは考えていない」との発言が一段のサポートとなり、149.48まで続伸。しかし、その後に発表された米1月NY連銀1年先のインフレ期待が前回より低下、3年先のインフレ期待が2020年3月以来の低水準の結果を受け伸び悩む。午後は注目の米1月CPIの結果発表を明日に控え、積極的な取引が手控えられ、149.30付近での狭い値動きが続く、149.37レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.07台後半でスタート。1.0790付近を中心とした値動きが続くも、その後独金利の低下が重しとなり、小幅反落し1.0770レベルでNYオープン。朝方は米金利の上昇を背景に、1.0756まで値を下げる。しかし、その後は下げ渋り、1.0780手前まで戻す。午後は注目材料が無い中、1.0770近辺でほぼ横ばい状態が続く、1.0772レベルでクローズ。

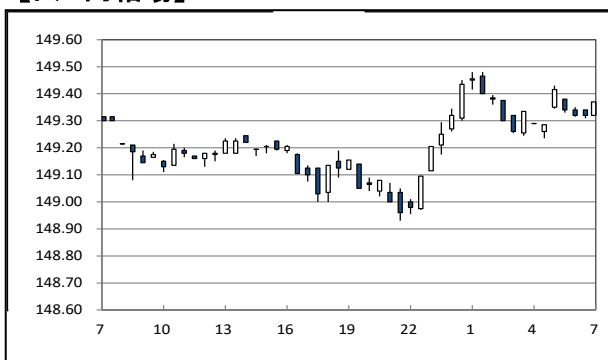
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月12日	23:20	米 ボウマンFRB理事 講演	-	「利下げに近い将来適切になるとは考えていない」

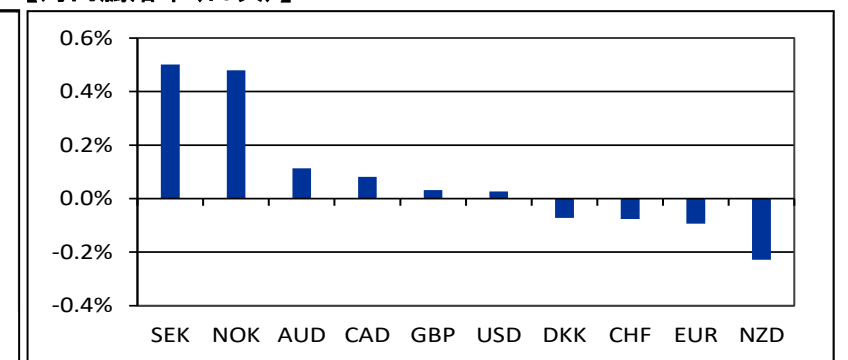
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月13日	08:30	豪 ウェストパック消費者信頼感指数	2月 -	81.0
	09:30	豪 NAB企業信頼感	1月 -	-1.0
	09:30	豪 NAB企業景況感	1月 -	7.0
	16:00	英 週平均賃金(除賞与/3ヵ月/前年比)	12月 6.0%	6.6%
	19:00	独 ZEW景気期待指数	2月 17.3	15.2
	19:00	独 ZEW調査現状指数	2月 -79.0	-77.3
	19:00	欧 ZEW景気期待指数	2月 -	22.7
	22:30	米 CPI(前月比/前年比)	1月 0.2%/2.9%	0.2%/3.4%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	148.50-149.70	1.0750-1.0850	160.00-161.50

【マーケット・インプレッション】

9日のドル円相場は149円台前半での小動き。前日の内田日銀副総裁発言を受けての円安進行は一服し、ドル円は150円に近づくに連れて上値の重さが意識される展開。週明け12日は本邦祝日で市場参加者が限定的となる中、ドル円は新規材料に乏しくじりじりと下落、海外時間には一時149円割れを示現する場面も見られた。本日は米国時間に米1月CPIの発表を控えており、ドル円は様子見ムードから引き続き方向感に欠ける展開となりそうだ。3月FOMCでの利下げの可能性は既に相応に剥落しており、直近のFRB高官の発言を鑑みても3月は金利据え置きの方算が大きいと思われるが、CPIの結果を受けた短期的な値動きには留意しておきたい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 南野・林